

土づくりの継続と畑かん用水を融合した営農展開 ～(株)竹内農場～

経営体の概要

事業実施前：平成17年	事業実施後：平成28年
基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、 たまねぎ	基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、 たまねぎ
経営面積：31.3ha	経営面積：47.4ha

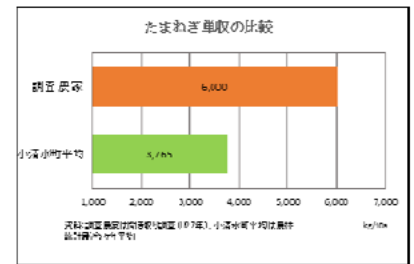
取組の経緯と経営転換のポイント等

畑地かんがい用水の整備により、防除等用水の運搬作業の省力化、リールマシンの導入によるたまねぎの生育安定化が促進され、栽培作物の生産性・品質の向上による経営の安定化が図られた。

営農改善のポイント

①畑かん用水の活用による単収増

たまねぎは5～10年でほ場を移動する作付体系を採用し、整備されたほ場給水栓より畑地かんがいを行っている。このことにより、平成27年には6.0t/10aと地域平均3.8t/10aを上回る水準を達成した。



②土づくりと輪作体系の確立

40年間に亘る農地管理データを営農に活用するとともに、小麦収穫後にJAでん粉工場からの肥料分を含んだ資源(NKゆう水)を投入するなど土づくりを促進し、輪作体系を確立した。



防除の省力化

③防除の省力化

経営規模の拡大に伴い、防除作業は天候によっては夜間作業もあり、用水運搬と薬剤散布の2人作業であったものが、ほ場給水栓の整備により1人作業が可能となり、大幅な省力化が図られた。また、給水のための作業車の道路走行も少なくなり、作業安全性が向上した。



たまねぎへのかん水

事業概要

事業種：畑地帯総合土地改良パイロット事業

関係市町：斜里郡小清水町

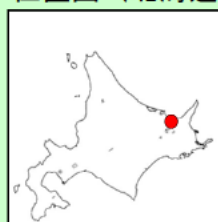
受益面積：12,910ha

事業期間：昭和53年～平成21年

事業目的：用水改良、畑地かんがい、排水改良、農地造成、区画整理

主要工事：ダム1箇所、頭首工3箇所、用水路229.7km、排水路9.1km、道路32.5km、農地造成453ha、区画整理7,593ha

位置図(北海道)



小清水地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部
農業振興課 調整係

電話：011-709-2311
(内線5684)

(平成28年度調査時点)